神社の杜（十七）

『紅葉の見どころ教えます』

御岳ビジターセンター　片柳　茂生

毎年美しく紅葉し、山を着飾ってくれる木々。今回はビジターセンターのレンジャーがおすすめする御岳山の紅葉スポットをご紹介しましょう。

十月下旬、まず最初に目を引く木は、ケーブルの駅を出て二〇〇m程歩いたところにあるコハウチワカエデ。まだ紅葉していない葉や黄色や朱色に染まった葉がグラデーションをかけたみたいできれいです。この木を見て今年の紅葉がきれいか又はそうでないかが決まってしまうといっても過言ではないでしょう。同じコハウチワカエデでも富士峰園地のものは色が違います。傍らの休憩舎の屋根を真っ赤に染まった葉で覆い、周囲に立つ樅や栂それに檜の深緑が、この赤をさらに際だたせてくれます。

富士峰園地からはもう一本ご紹介しましょう。それは北斜面にあるコミネカエデです。木はそれほど大きくはないのですが、オレンジに染まると言うところにひと味違った趣を与えてくれます。

大塚山からはマンサクをご紹介します。マンサクも比較的早くから紅葉をはじめる木です。ちょっと厚めの葉は黄色く色づき、その元の方にはもう来年の花芽がのぞいています。やがて黄葉した葉が木から落ち、散策路をも黄色にしてしまいます。そんな景色はいかがですか。

カエデの宝庫ロックガーデンからは何を紹介しましょう。綾広の滝の上のほんの一箇所にはヒナウチワカエデ・オオモミジ・コハウチワカエデ・ホソエカエデ・ミツデカエデ・メグスリノキが立ち並び、それらが時期を変え、色を変えて楽しませてくれます。

ここまでご紹介した以上に素晴らしいところなんてあるんでしょうか？実はあるんです。私たちレンジャーがもっともお薦めしたいところ、それはビジターセンターから見た神社の杜なのです。他のところでも一本々々のそれは素晴らしい紅葉を見せてくれる木はあります。しかし、杜全体が美しく染まるという意味ではここが最高だと思っています。

さて、今年の秋も紅葉を楽しんで気分をリフレッシュさせましょう。

ろうばい　蝋梅

梅の花は昔から日本中広く分布しているため、我が国にもともとあった木のように思われるが、中国が原産。紅色の花を付ける紅梅と、白色の花の白梅とがよく知られているバラ科サクラ属の植物。黄色い花を咲かせる蝋梅は、梅といってもロウバイ科の花で、鑑賞用にやはり中国より渡来した。外側の花弁が黄色、内側は暗紫色で、まるで蝋細工のような光沢をもつ神秘的な花びらをして、蕾の頃から香りも楽しむことができる。

ソシンロウバイ

イラスト　神田忠良

御岳山にはソシンロウバイが多く、三月初めの富士峰園地は一千株が咲き競い、独特の甘い香りにつつまれ、春の訪れを知らせてくれる。（片柳至弘）

あとがき

御岳登山鉄道より賜りました休息用の長椅子が、境内や参道に設置され、ご参拝の皆様にたいへん喜ばれています。

ここで広報担当者五名のうち二名が新しく替わりました。見やすい、読みやすい広報をお届けしたいと頑張っています。

三橋健先生、加藤昭夫様には、玉稿を賜り誠に有り難うございました。

平成十三年九月二十九日発行
〔年二回発行・非売品〕
編集　武蔵御嶽神社
TEL〇四二六（七八）八五〇〇
FAX〇四二六（七八）九七四一
印刷　㈱成和印刷
表紙写真　鈴木新吾